

私たちの多彩なワークスタイル

行政事務

文化スポーツ局
文化振興課 主幹

平成11年度採用



育児と仕事の両立について

夫との協力、両親のサポート、上司、同僚の理解と支援のおかげで頑張ってきたと思っています。仕事では、不測の休みに備え、優先順位、計画性、データや書類の整理を意識してきました。休日は子どもたちとの時間を最優先し、休暇も活用しながら学校行事や部活動の応援等、その時しかない大事な成長を見守ることができました。子どもたちとの時間が日々の生活や仕事の原動力にもなっています。



「福島県職員」の魅力・やりがい

業務が多岐にわたるため、様々な職種の方と素敵な出会いがあり、異動により新たな知識や経験を積むことができることも県職員の魅力だと思います。同僚や外部の関係の方々との協力しながら事業を進め、一丸となってやり遂げた後は大きな達成感があります。日々の業務の積み重ねが県民の皆さんの笑顔と地域の元気につながるとてもやりがいのある仕事です。

受験者へメッセージ

「福島のために！」その思いが福島県の未来を創ります。福島への熱い思いを持つ皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

これまでのキャリアパス

配属年	地域	職名	所属・エピソード
H11	県北	主事	県北教育事務所 総務課 ・ 県北地方の小中学校教職員の給与関係業務を担当。 ・ 社会人1年生、何もわからない中、上司や先輩職員にフォローいただきながら、仕事と県職員のイロハを学びました。今は珍しくなりましたが、北海道や岐阜県への職員旅行も楽しい思い出です。
H14		社会福祉主事	
H17	県庁	主事	企画調整部 情報政策課 ・ 県職員の情報化研修や情報セキュリティの啓発、統計部門の経理業務などを担当。 ・ 第2子を出産し、育児休業中に東日本大震災が発生、直後の4月に復帰しました。産休・育休あわせて約2年半お休みをいただきましたが、上司や同僚のおかげでスムーズに復帰することができました。
H25		副主査	
H27	県北	主査	保健福祉部 児童家庭課 ・ 自立支援総室の予算・決算とりまとめ、ひとり親家庭の福祉などを担当。 ・ 所属全体の予算を担当し、様々な事情から困難な状況にある子どもの福祉、ひとり親家庭の福祉、子育て支援、障がい者福祉に関する多くの取組を知ることができました。
H30		主任主査	
R2	県北	主査	福島県立医科大学事務局 企画財務課 ・ 大学全体の資金管理や支払関係業務を担当。 ・ 企業会計に初めて携わることとなり、職場内研修を活用して、簿記の資格を取得しました。
R5		主任主査	
R2	県北	主査	総務部 職員業務課 ・ 県職員の休暇や旅費など庶務業務の集中管理の企画、システム運用などを担当。 ・ システムの維持、改善に多くの時間と労力が必要であることを実感しました。業務効率化のため、教育庁等への庶務システム導入拡大の検討に関係部局と取り組みました。
R5		主任主査	
R2	県北	企画管理部長	図書館 企画管理部 ・ 職員管理、備品・施設の管理など図書館運営全般、市町村図書館の支援などを担当。 ・ コロナ禍での度重なる運営方法の見直しや、令和3年と4年の地震により多数被害を受けた施設・設備の修繕対応など、図書館利用者と職員の安全安心を最優先に図書館運営に取り組みました。
R5		主幹兼企画管理部長	
R5	県庁	主幹	文化スポーツ局 文化振興課 ・ 音楽、美術、文学、伝統文化などの文化芸術に県民が親しむ環境づくりをはじめとした文化振興を担当。 ・ 文化の力で人と地域を元気にするため、声楽アンサンブルコンテスト全国大会、県総合美術展覧会、県文学賞、ふるさとの祭りなどの開催のほか、令和8年と9年に予定している大ゴッホ展の開催に向けた準備を進めています。